

～沖縄から本土、海外で活躍する企業を目指して～ (タイガー産業 株式会社)

会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地: 沖縄県うるま市字州崎12番-11
- 代表者: 代表取締役 島袋盛義
- 資本金: 3,000万円
- 売上高: 58億3,000万円
- 従業員数: 165名
- URL: <http://www.tiger-sg.co.jp/index.html>

①事業概要

<建築資材製造>

タイガー産業株式会社は、昭和54年に総合金物卸商として設立。創業以来“即納体制”をモットーに、建築資材の安定供給と在庫確保に努めている。

建設資材をはじめ、ボルト、土木資材、内装材、その他オリジナル商品も多数揃え、その数は、2万点以上。原料調達から最終的な表面処理までを全て自社で行うことができるものづくり企業。顧客のニーズに、よりスピーディーにお応えしていくためにも、生産拠点と販路拡大が急務と考え、大阪営業所、仙台営業所、東京営業所を開設。

また、より広い視野に立ち、生産・販売サービスマットの確立をめざして、東南アジアの販路拡大に力を注いでいる。

②海外展開概要

<中国・香港における工場設置>

同社は、生産力の強化及び安定化を図ることを目的に、平成6年に中国南寧市に現地法人を設立。昨年11月「市経済技術開発地区」に旧工場の2倍となる新工場を設立し、金属・プラスチック製品の製造機器、表面処理装置などを設置。

同工場で生産される製品は、日本本土、東南アジア等に輸出され、工場の売上高は約10億円に上る。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

同社は、ものづくりでは通常行っている分業を行わず、原料調達から表面処理までをすべて自社で行っている。通常、分業しないことにより、コストが割高になり、国内外の競争に勝てないが、それを克服すべく、いち早く国外に進出を決めたことが成功の要因のひとつに挙げられる。

一方、すべての製造を海外に移すのではなく、一定の製造拠点を国内で維持し、国内でも製造できる体制を整えている。これにより、顧客からの要望にスピーディーに対応でき、信頼確保が可能となった。

また、信頼できるパートナー(管理者)に恵まれたことも成功要因のひとつである。

④今後の事業展開について

中国南寧市の新工場が稼働したばかりであり、稼働率の向上による今後の活躍が期待できる。

中国国内への販路を確立すべく、検討を重ねているところである。

また、国際競争力を備えるためにもグローバル人材の育成を実施しているところ。



(平成24年11月現在)

データ出所: 内閣府沖縄総合事務局経済産業部